

NECのSaaS事業戦略と 具体的取り組みについて

2008年5月19日

NEC
マネージドプラットフォームサービス事業部
事業部長 細田 稔

1 . N E C の S a a S 戦略

2 . 具体的取り組み

- 1 . アプリケーション領域での取り組み
「S a a S サービス事例紹介」
- 2 . プラットフォーム領域での取り組み
「S a a S 基盤サービス構想のご紹介」

3 . パートナ支援プログラム 「SaaS Business Innovation Program」

4 . まとめ、お問い合わせ先

1 . N E C の S a a S 戦略

2 . 具体的取り組み

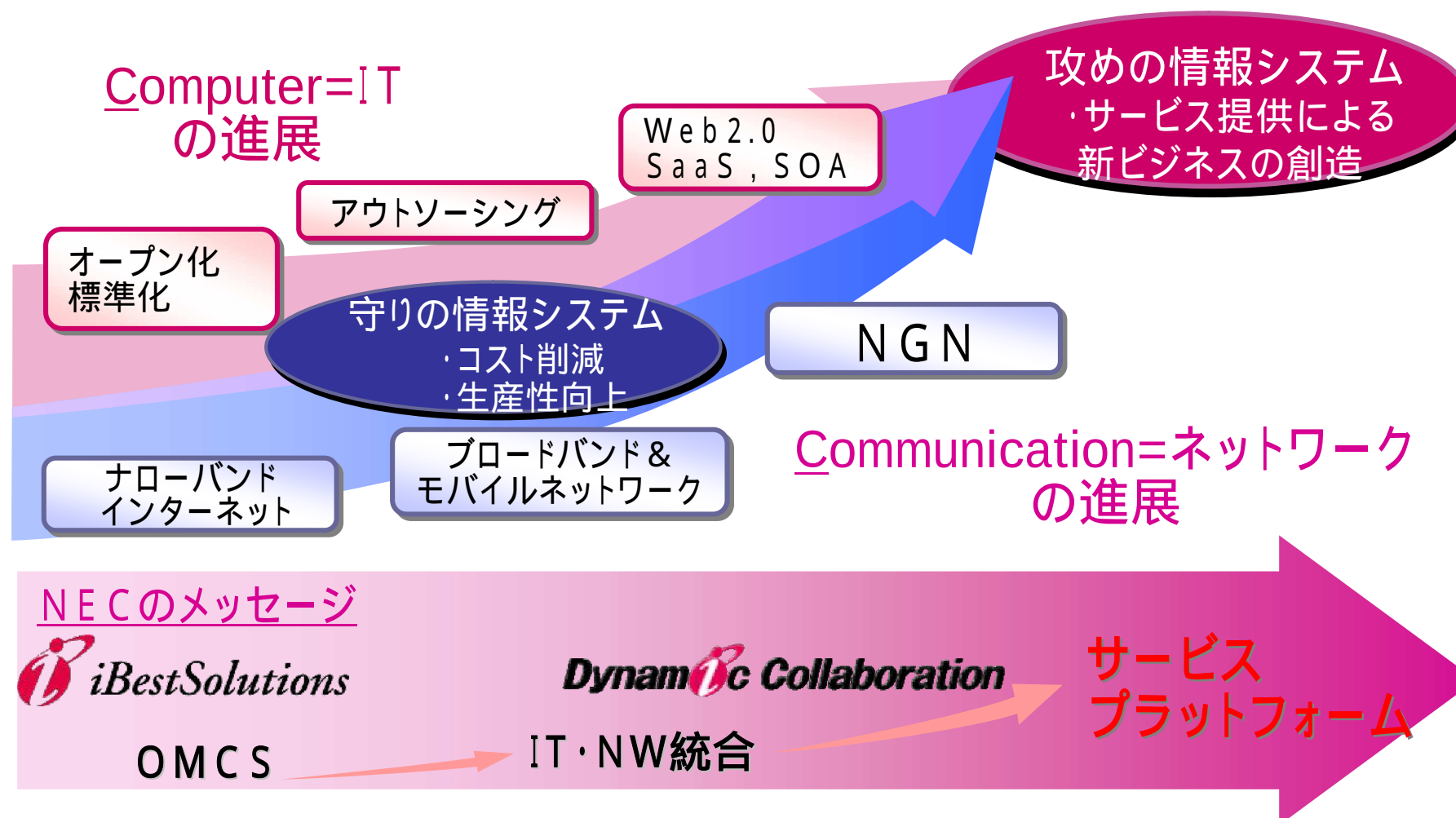
- 1 . アプリケーション領域での取り組み
「 S a a S サービス事例紹介」
- 2 . プラットフォーム領域での取り組み
「 S a a S 基盤サービス構想のご紹介」

3 . パートナ支援プログラム 「 SaaS Business Innovation Program」

4 . まとめ、お問い合わせ先

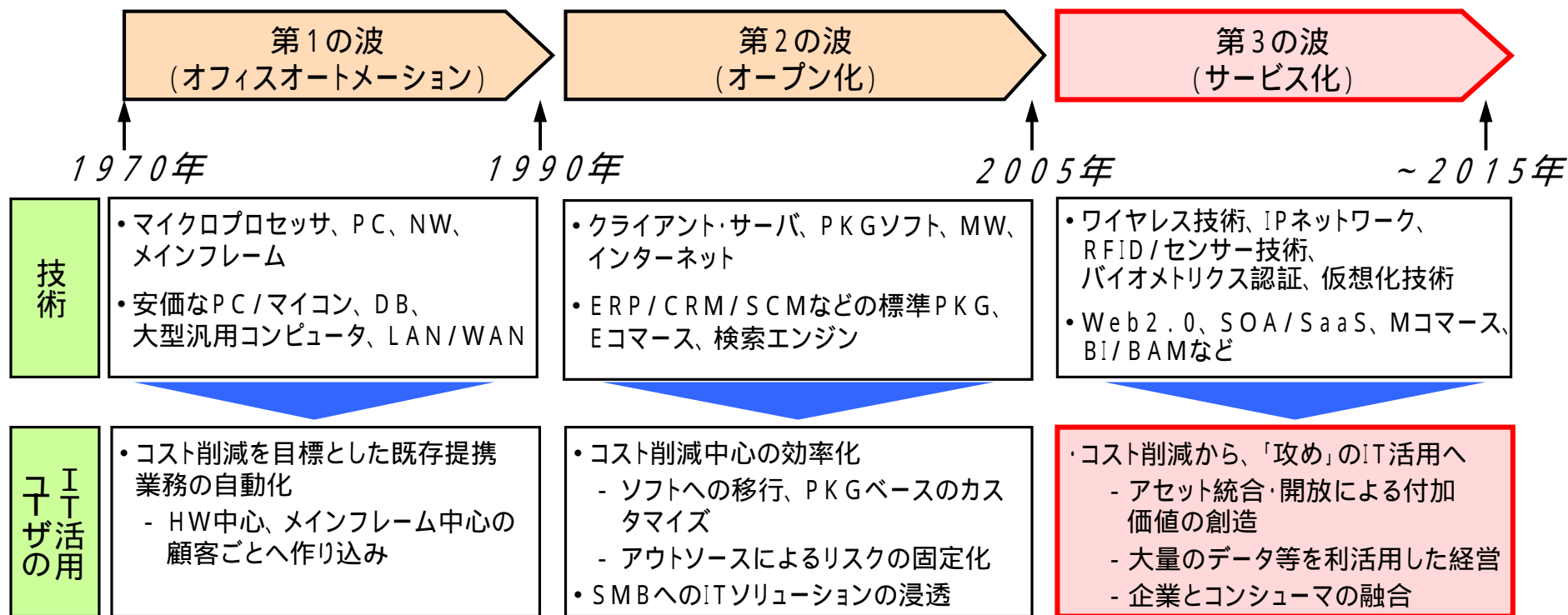
これからの企業情報システム

- ◆ ITとネットワークの融合が、さらに進展
- ◆ 情報システムの役割は、ビジネス創造の基盤へと変化



これからの企業情報システム

◆ 今後3～10年で、ICTの浸透を核にした人材・モノ・データの新たな活用が主流になり、業界構造が大きく変化。グローバルGDPを30%押し上げる成長ドライバー



既に起きつつある変化:

企業による消費者向けWebスタイルの活用(シンプルGUI)

消費者向けWebメジャー・プロバイダによる企業向け機能・サービスの拡充

→ 市場が新モデルへの乗換えを開始する兆候(=「破壊的」テクノロジーとしてのSaaS)

2007/10/24 「Biz Innovation 2007」ガートナープレゼン資料より

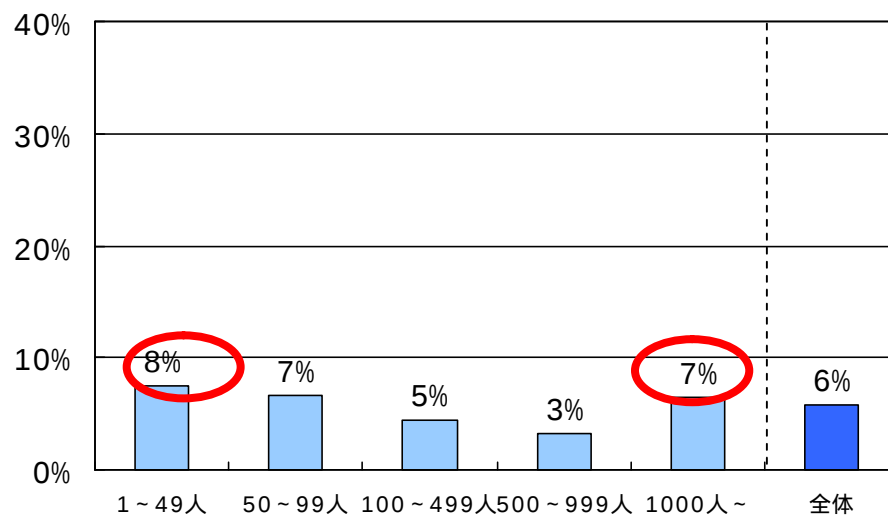
(市場動向) 企業規模別でのユーザーニーズ

今後、リプレイス、新規構築などで導入する可能性については、

- ◆ 比較的、中小規模の企業で特に導入期待が高い。(現状の3～5倍)
- ◆ 従業員1000人以上のゾーンでも、現状の2倍以上が見込まれる。

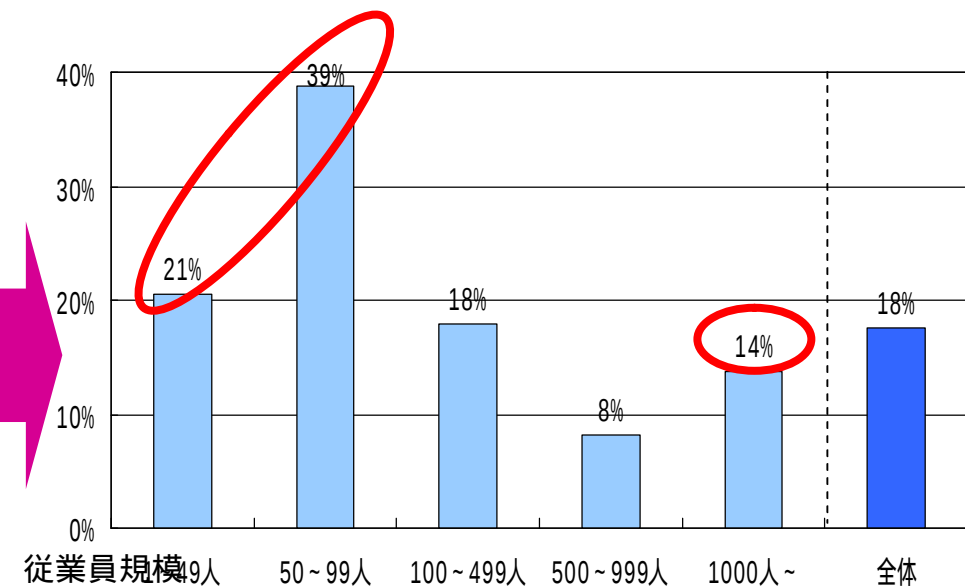
現状のシステム導入形態

- 従業員規模別SaaS利用率



今後リプレイス及び新規構築するシステムの導入形態

- 従業員規模別SaaS利用率



出典: IDC JapanのデータをもとにNECが推定

今後の企業システムでのITマネジメントの流れ

- ◆ 企業・官公庁情報システムは、
所有型 / 利用型を柔軟に組み合わせたソリューションへ



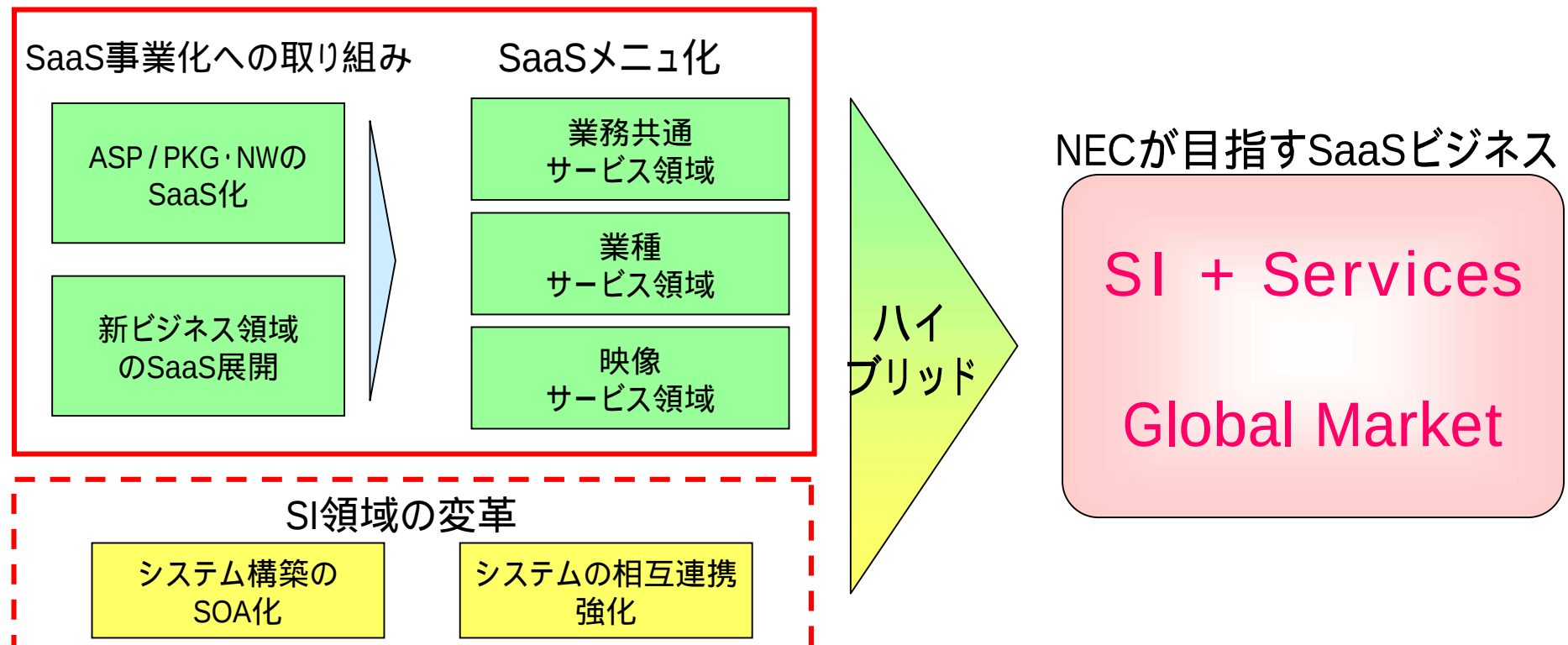
SaaSの定義、NECが目指す『SaaSビジネス』

SaaSの定義；

「NECが培った業務ノウハウやPKG、NWをお客様に対してオンデマンド型で提供するサービス」

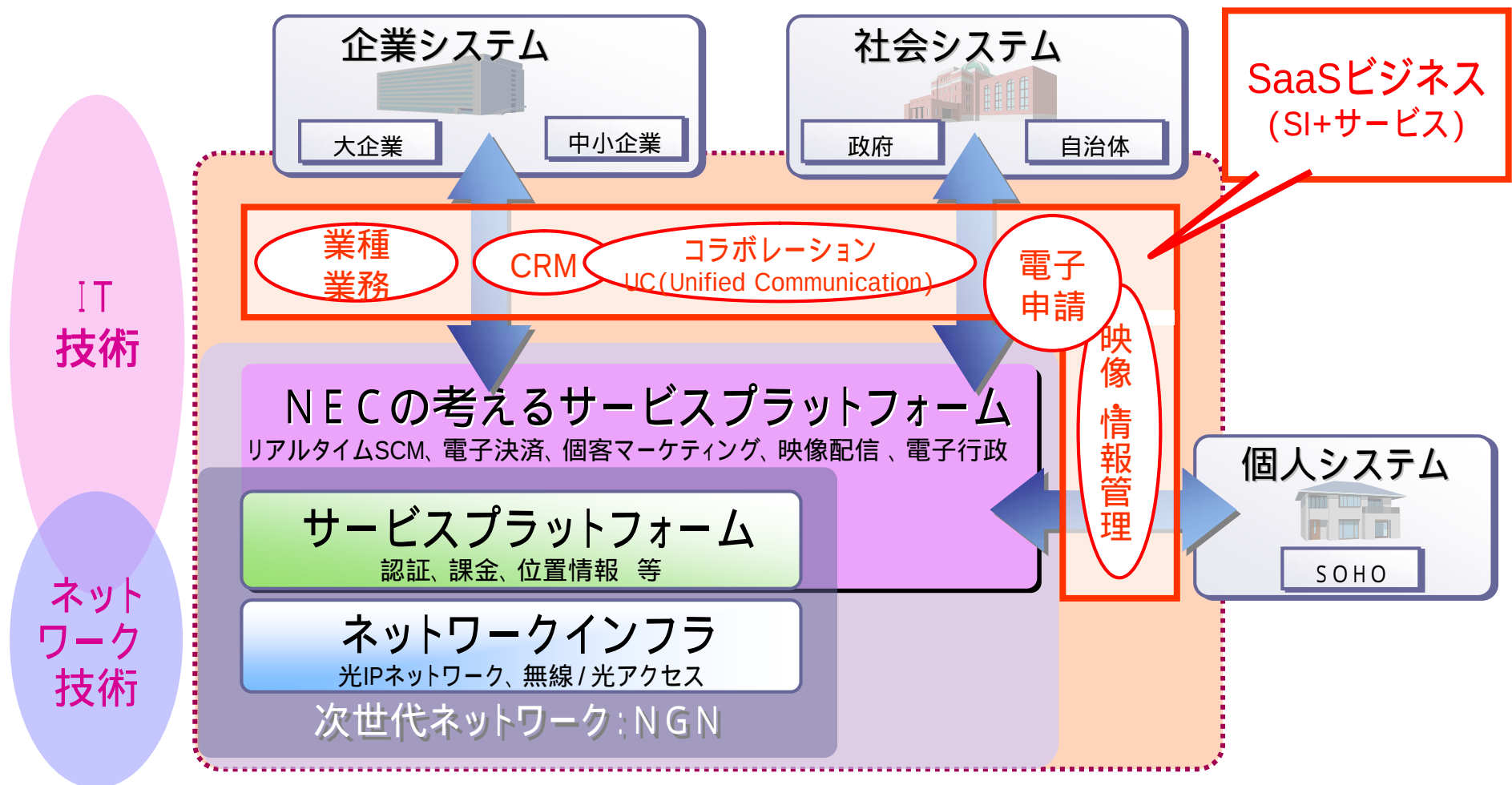
SaaSビジネス；

「SaaSを活用した既存システム連携など、サービスとSIをハイブリッド型で提供することで、お客様のビジネス拡大を支援する」



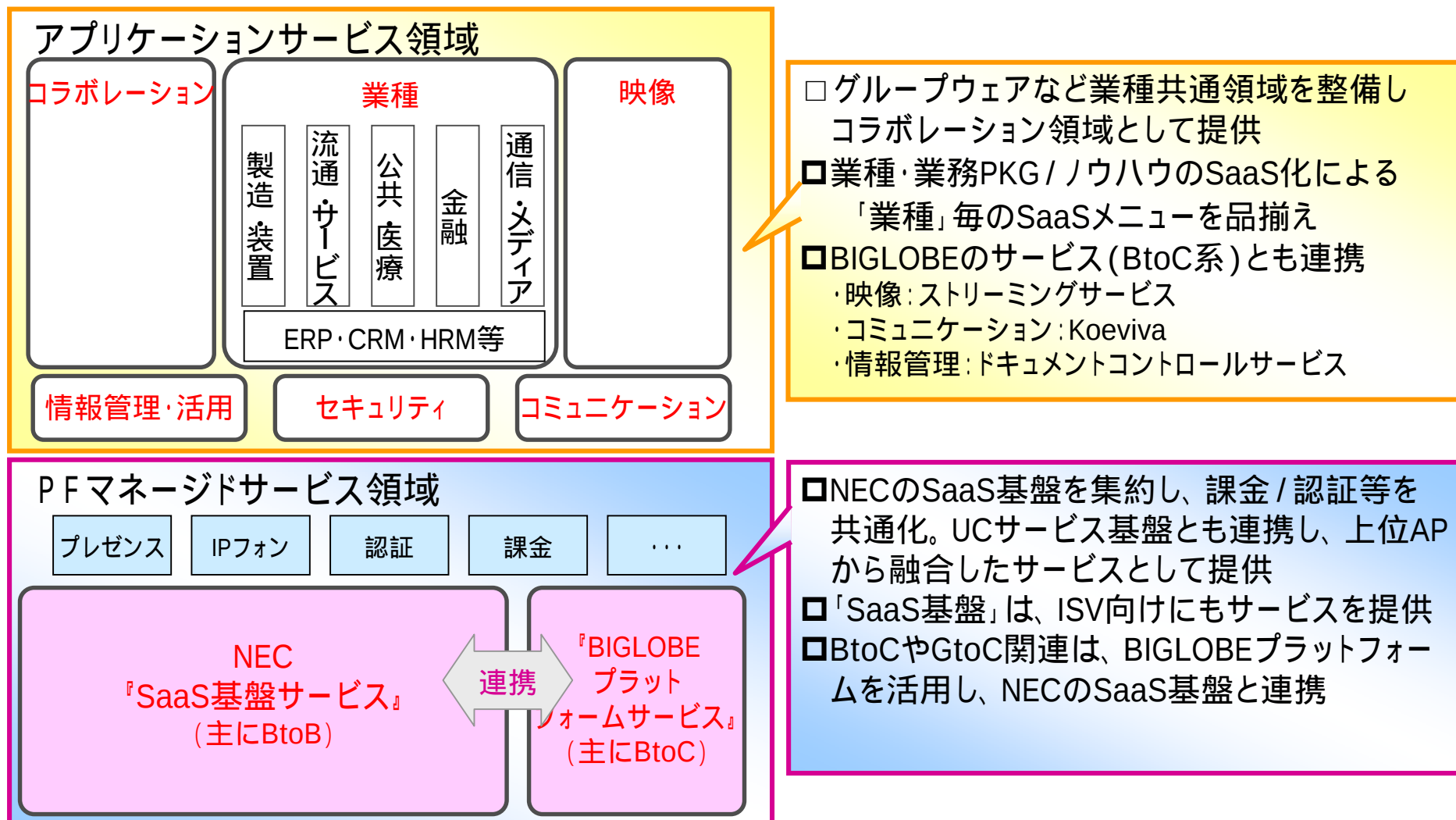
NECの考える『SaaSビジネス』

- ◆ NECの企業システム提供ノウハウおよび、BIGLOBEで培ったコンシューマ向けサービスノウハウを結集し、SaaSビジネスを展開する



NECの「SaaSメニュー」と特長

- ◆ アプリケーションサービスと、PFマネージドサービスの2領域でサービスを提供
- ◆ ユーザ企業、SaaS事業者が必要とするサービスを順次拡張



- 1 . NECのSaaS戦略
- 2 . 具体的取り組み
 - 1 . アプリケーション領域での取り組み
「SaaSサービス事例紹介」
 - 2 . プラットフォーム領域での取り組み
「SaaS基盤サービス構想のご紹介」
- 3 . パートナ支援プログラム
「SaaS Business Innovation Program」
- 4 . まとめ、お問い合わせ先

SaaSサービス事例

「シフト勤務スケジューリングサービス」

SNS提供サービス「Social Tool Mart」

SaaS型eラーニングサービス「Cultiiva Global」

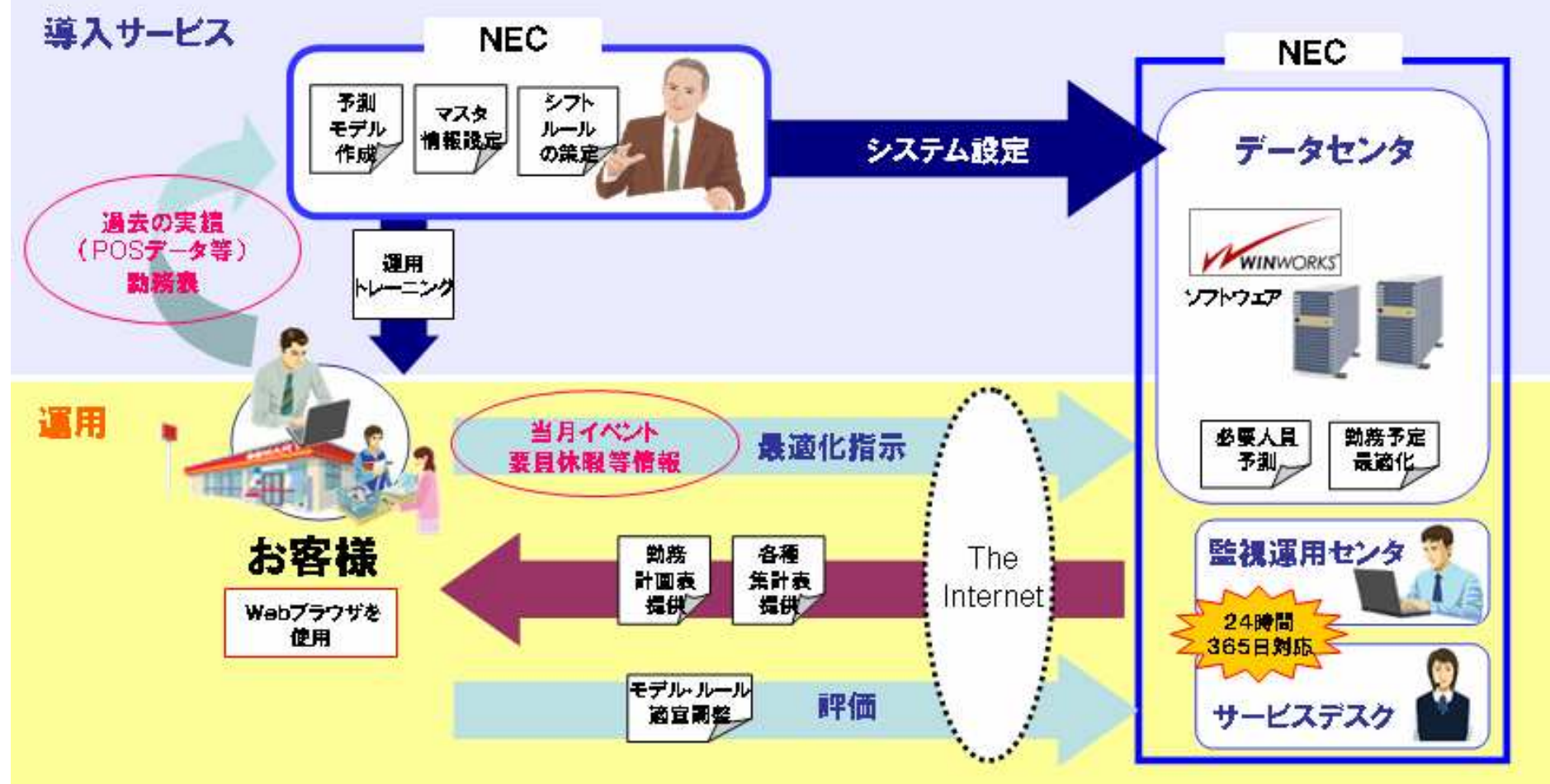
「NECクレジットカード公金決済サービス」

「BIGLOBEドキュメントコントロールサービス」

「シフト勤務スケジューリングサービス」

◆ 必要なスタッフの人員構成を予測して、最適な勤務計画を作成する SaaS型のサービス

～ 導入サービスにより現状分析と予測モデルを作成し、お客様ごとに最適な勤務シフトを作成 ～



SNS提供サービス「Social Tool Mart」

◆Enterprise2.0のSaaS型展開モデルとして、2007年10月より出荷

サービス概要

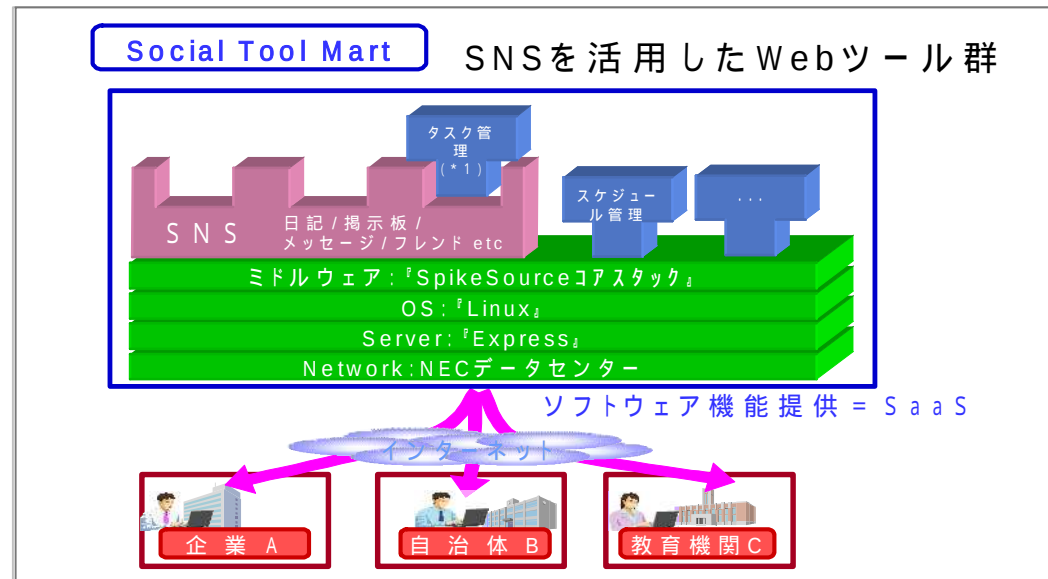
SNSを中核としたコミュニケーション基盤。人的ネットワークの形成など、業務革新に必要な機能をサービスで提供。

受注実績

< 主な活用事例 >

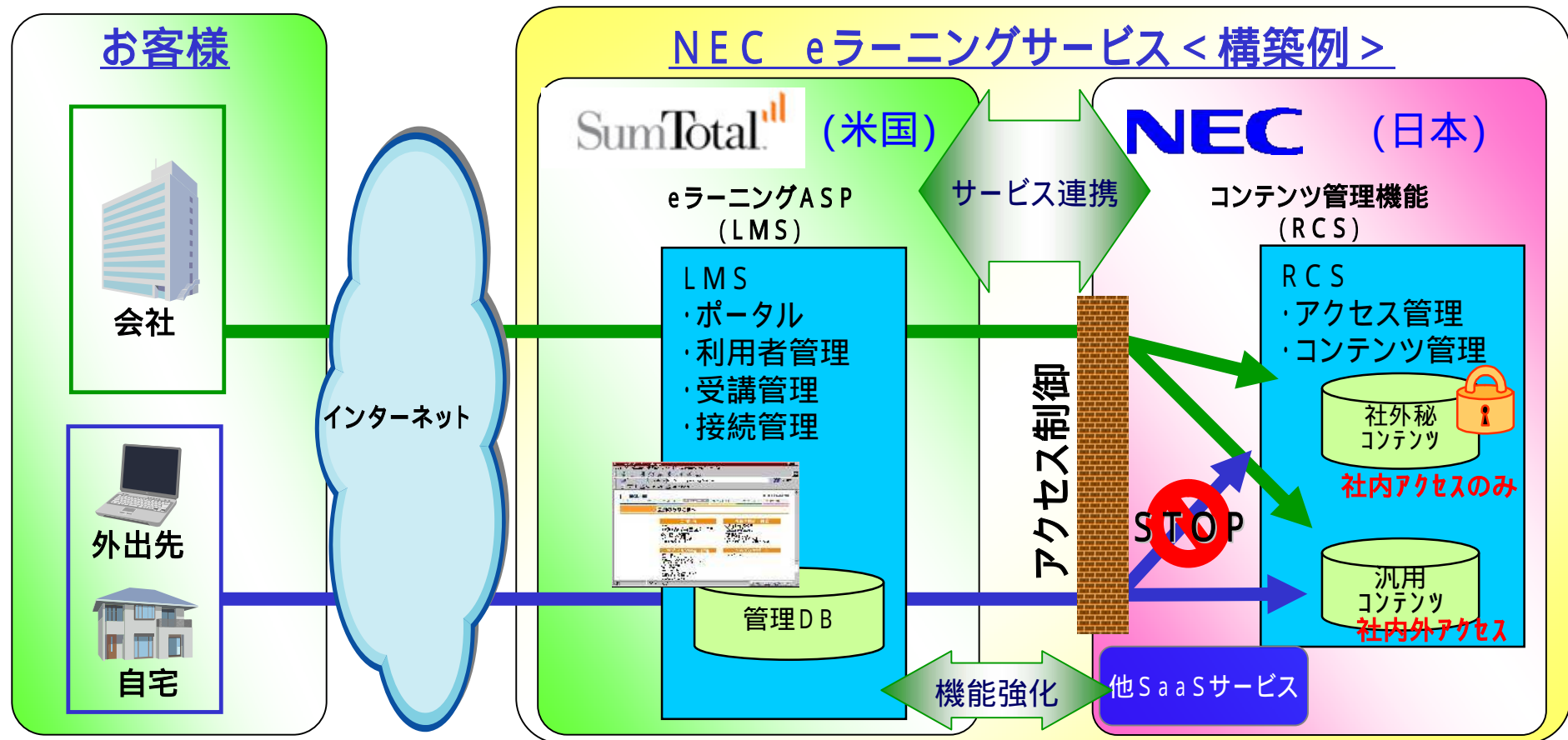
- テレビ新広島：日本で初めて、ワンセグからSNSへの集客、SNSコンテンツを活用したワンセグ向け情報提供サービスを実現
- 三井不動産販売：リアルなオフィスとSNSとの両輪の相乗効果で、新規ビジネスや社会活動を創出することができる場を提供
- 某金融会社：SNSでOGネットワークの場を提供・集客し、育児等が一段落した業務経験豊富なOGの再雇用情報を提供

その他実績多数



SaaS型eラーニングサービス「Cultiiva Global」

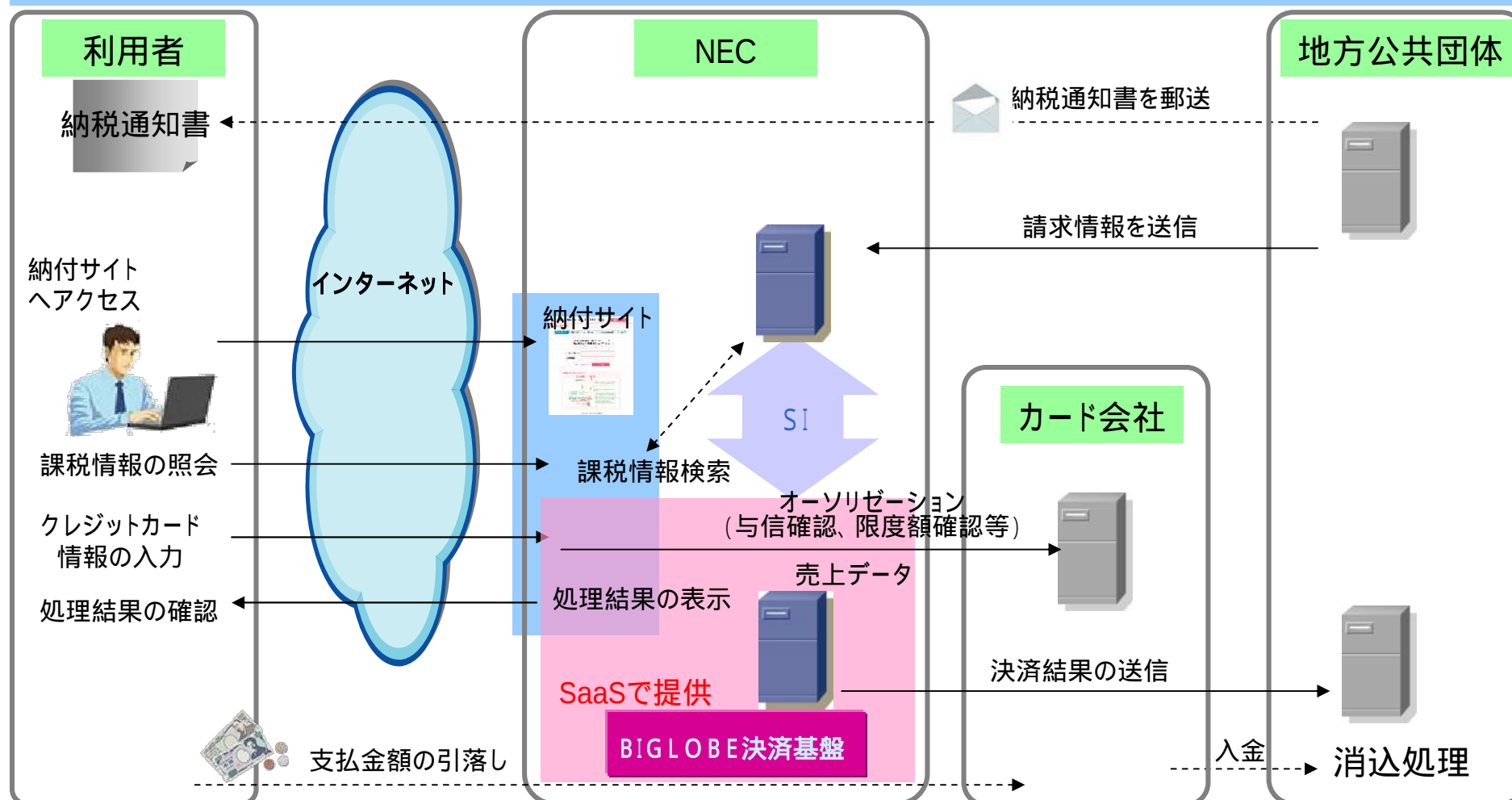
- ◆ 米国売上No.1の米国サムトータル システムズ社のLMSと、NECのサービス基盤を連携したサービス。 個別の顧客要件を満たすサービスを早期に実現。
- ◆ SaaS基盤活用により、新たな顧客ニーズへの対応が可能



(LMS : ラーニングマネジメントシステム) (RCS : リモートコンテンツサーバ)

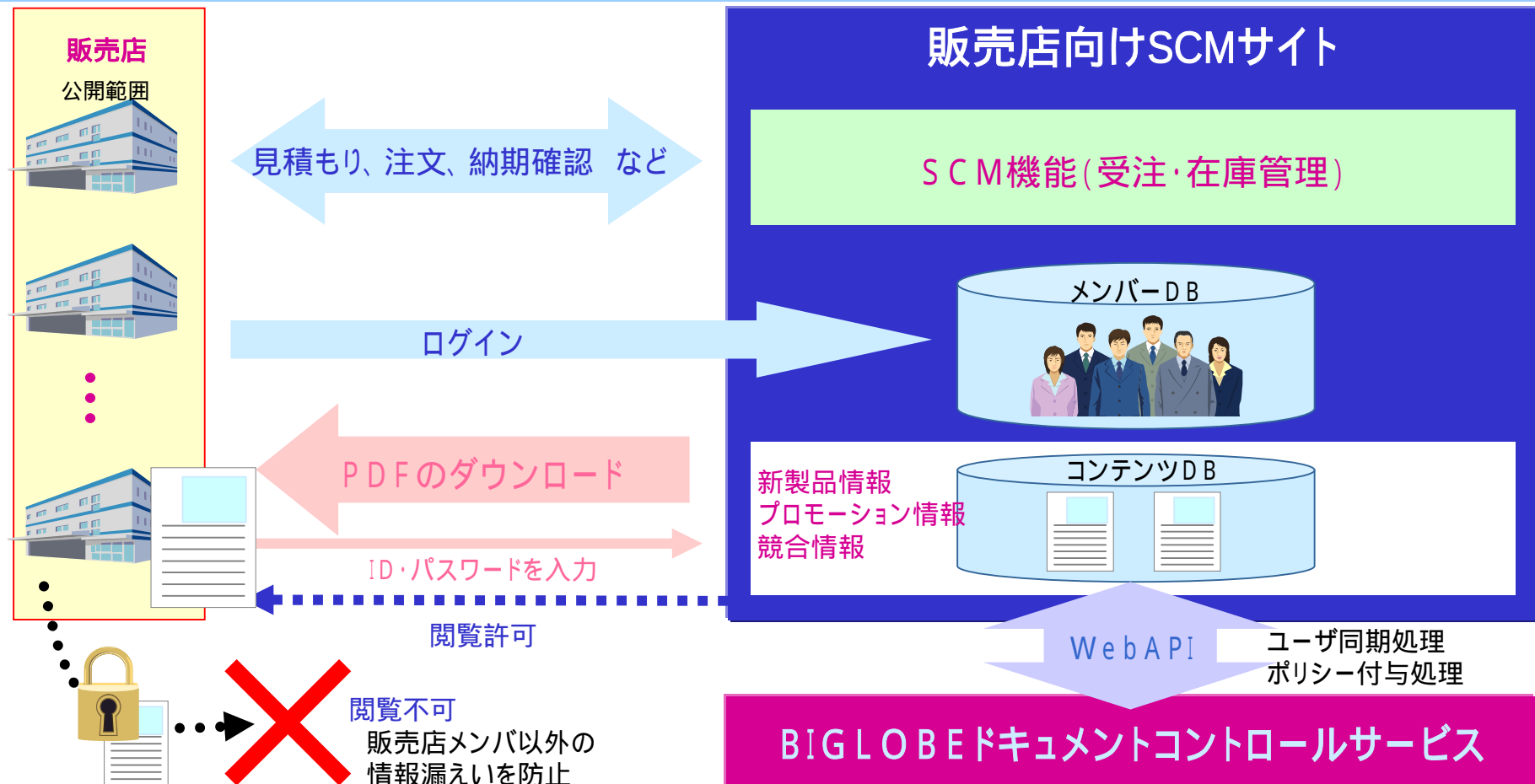
「NECクレジットカード公金決済サービス」

- ◆ BIGLOBE基盤の活用により安心・安全なサービスを実現
- ◆ 地方公共団体向け業務システムの豊富なノウハウを生かし、既存システムとの連携を容易かつ低コストにて実現



「BIGLOBEドキュメントコントロールサービス」～販売店向けSCMサイトとの連携事例～

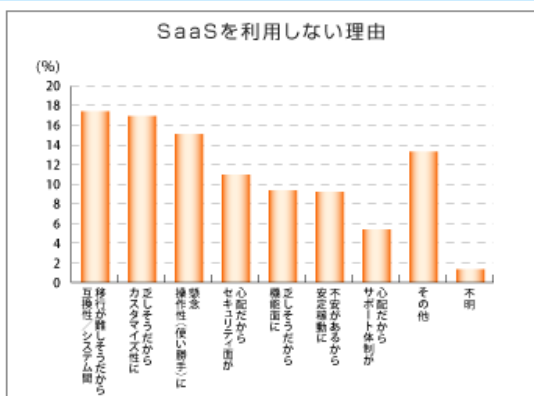
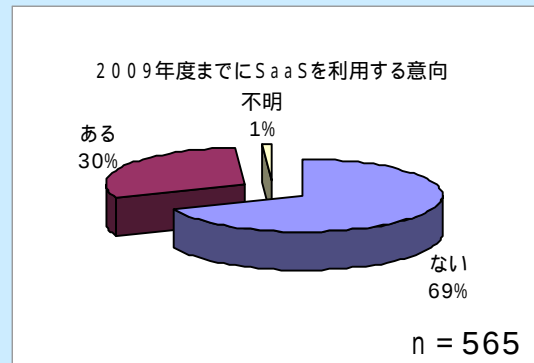
- ◆ 通常の販売店向けサイトと「BIGLOBEドキュメントコントロールサービス」をWeb APIで連携
- ◆ 新製品情報、プロモーション情報、競合情報などのコンテンツを限定して公開する仕組み実現



- 1 . NECのSaaS戦略
- 2 . 具体的取り組み
 - 1 . アプリケーション領域での取り組み
「SaaSサービス事例紹介」
 - 2 . プラットフォーム領域での取り組み
「SaaS基盤サービス構想のご紹介」
- 3 . パートナ支援プログラム
「SaaS Business Innovation Program」
- 4 . まとめ、お問い合わせ先

- ◆ ユーザ企業はSaaSの利用に対して以下の課題を認識しており、SaaS基盤事業者はそれらの課題に対応する必要がある

国内のユーザ企業を対象にした
IT 投資に関するアンケート



【注】n=389

(矢野経済研究所調べ)

出展：「ユーザ企業のIT投資実態と予測 2007-2009」
矢野経済研究所

ユーザが認識しているSaaSの課題

- ・課題1 **互換性**、システム間**移行** が難しそう
- ・課題2 **カスタマイズ性**、**機能** が乏しそう
- ・課題3 **セキュリティ**、稼働の**安定性** に不安
- ・課題4 **サポート体制** が心配



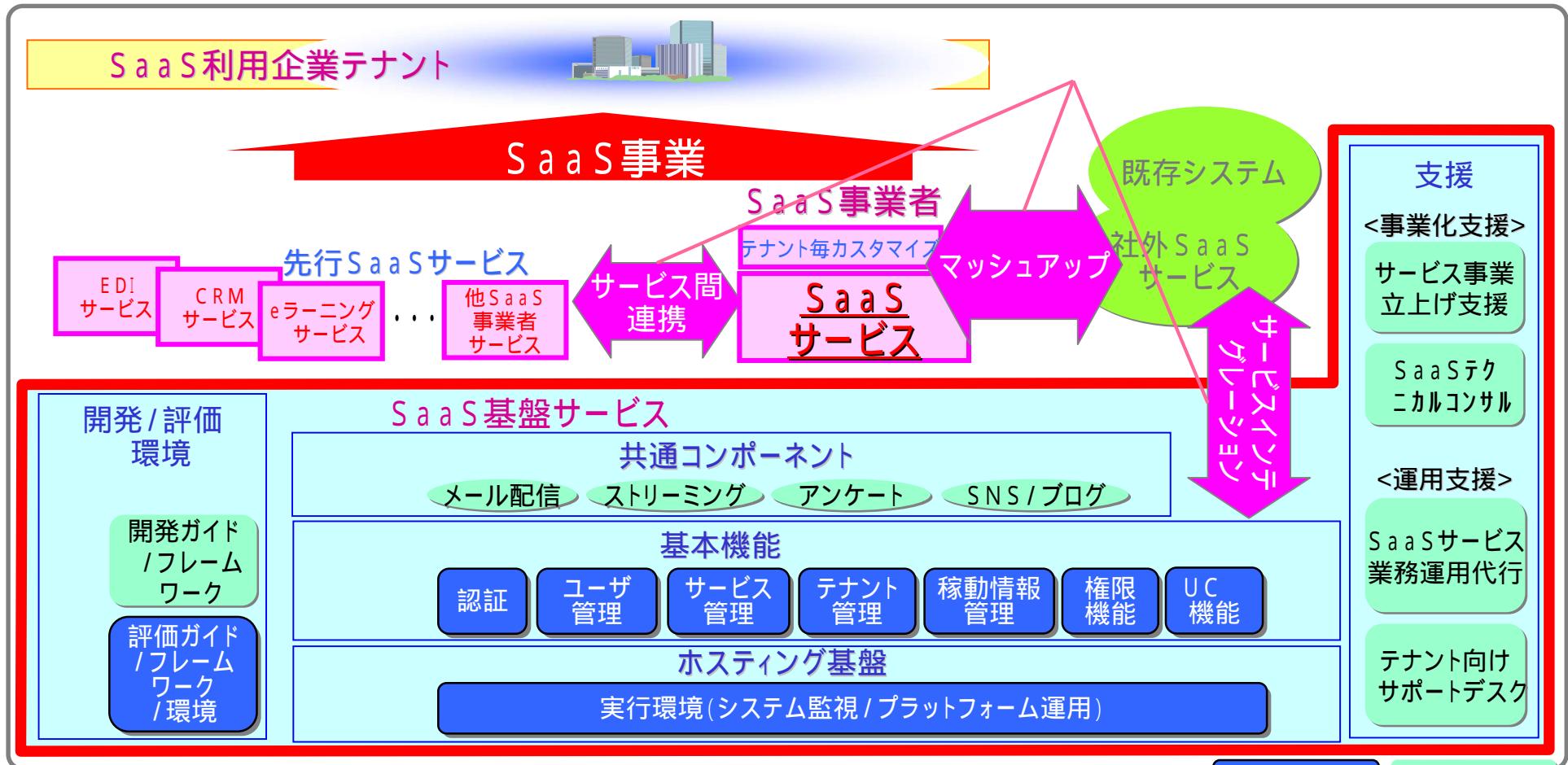
『SaaS基盤サービス』の進める解決方針

SaaS事業者様が上記ユーザ課題を解決できるSaaSサービス実現のために基盤事業者として以下の方針でSaaS基盤を提供

- ✓ SIと連携できる**開発/評価環境**の提供
- ✓ **共通部品**、外部との**連携手段**提供等による柔軟な対応力
- ✓ 長年のサービス事業で培ってきた**安心・安全**なホスティング基盤上でのサービス提供
- ✓ ビジネス/テクニカル両面での事業化支援、AP運用代行等の充実した**支援メニュー**

『SaaS基盤サービス』：NECが提供するSaaSサービス用基盤

- ◆ 本サービスはアプリケーションをSaaS型でサービス提供する事業者様 (= SaaS事業者) に対して、基盤の機能を提供するサービスです
- ◆ 「基本機能」「共通コンポーネント」「サービス連携」「ホスティング基盤」「開発/評価環境」「事業化支援/運用支援」により構成します

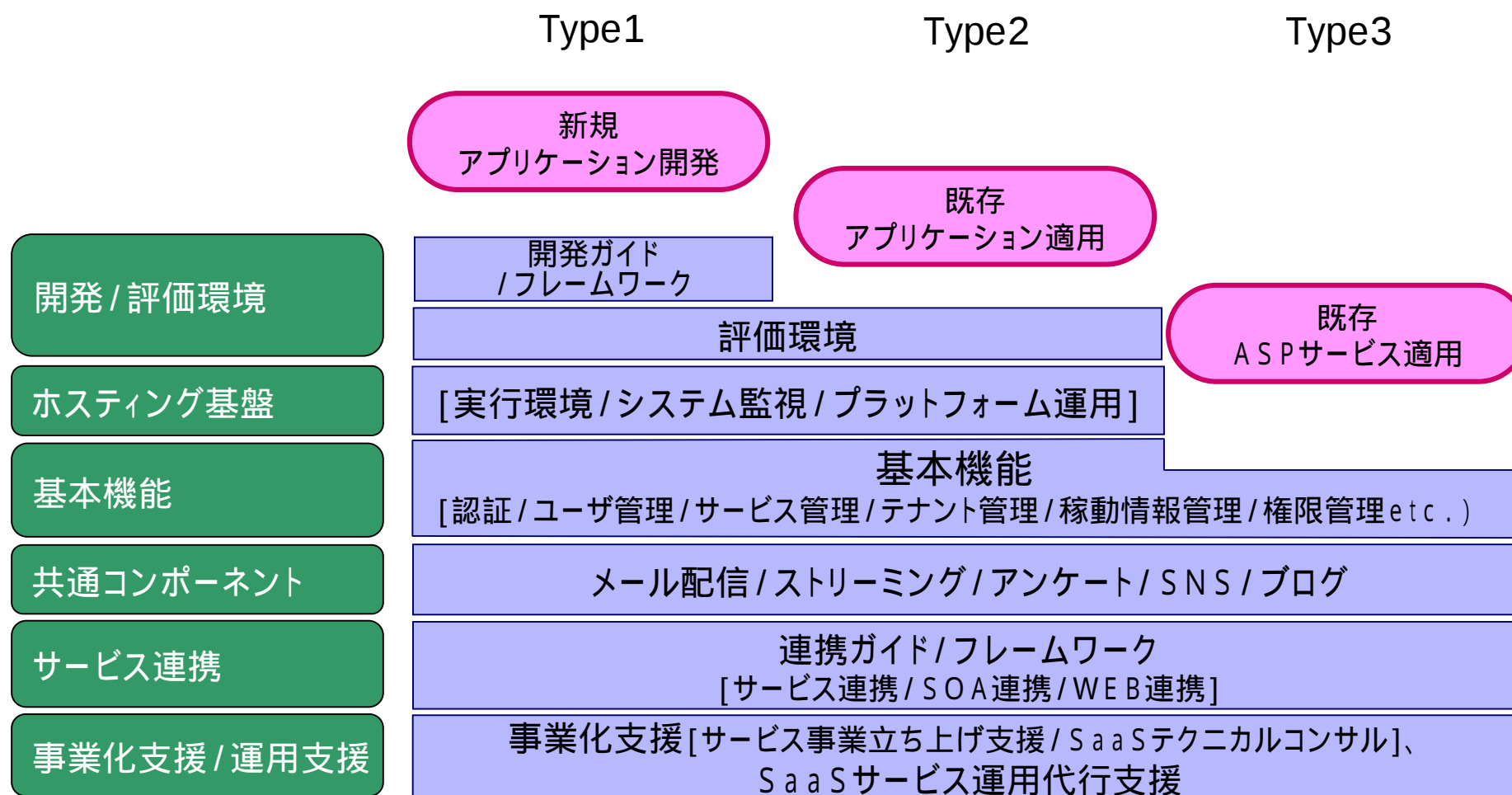


UC: Unified Communication

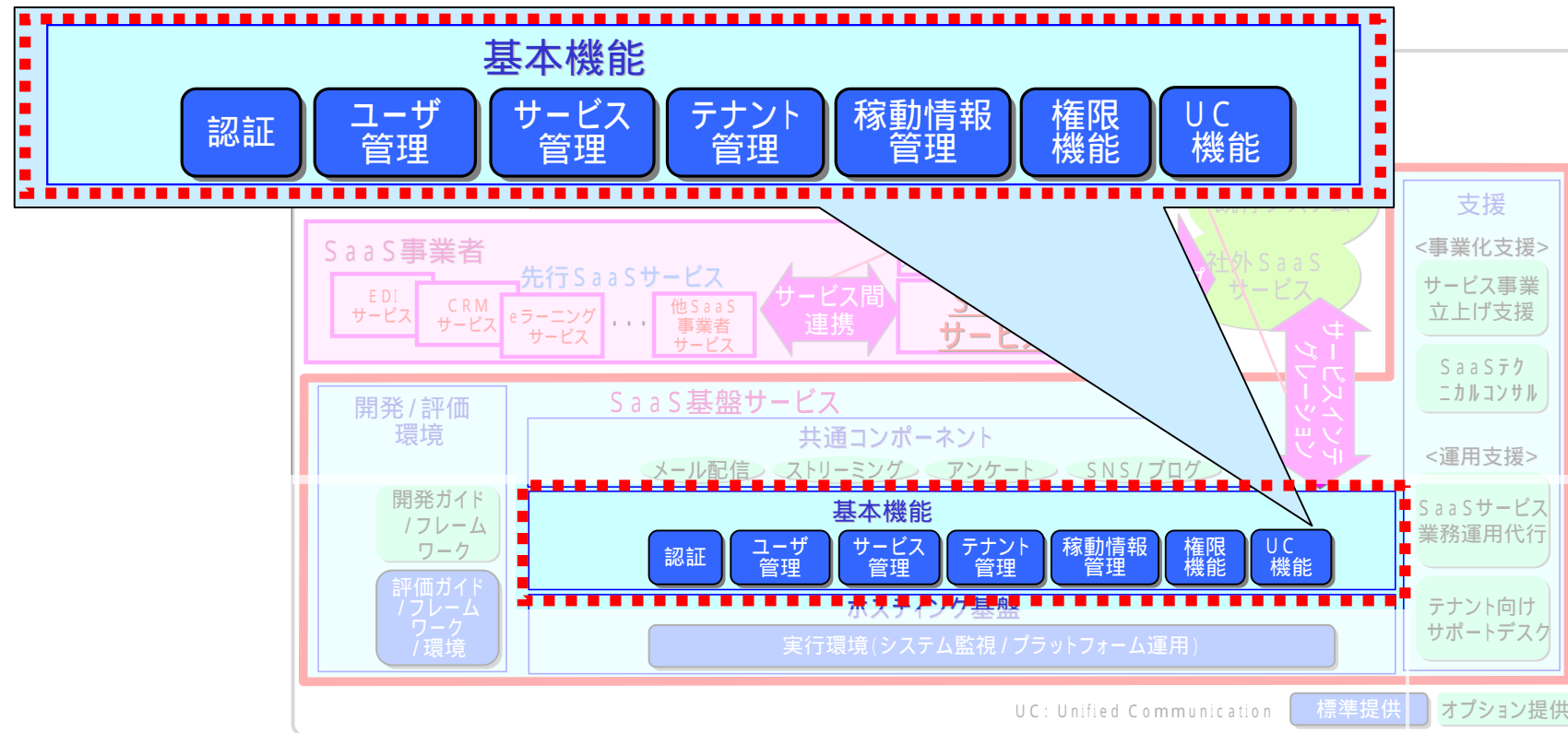
標準提供

オプション提供

◆ご利用目的(新規アプリケーション開発、既存アプリケーション適用、既存ASPサービス適用)に応じて、必要となるSaaS基盤サービスの機能・サービスを提供

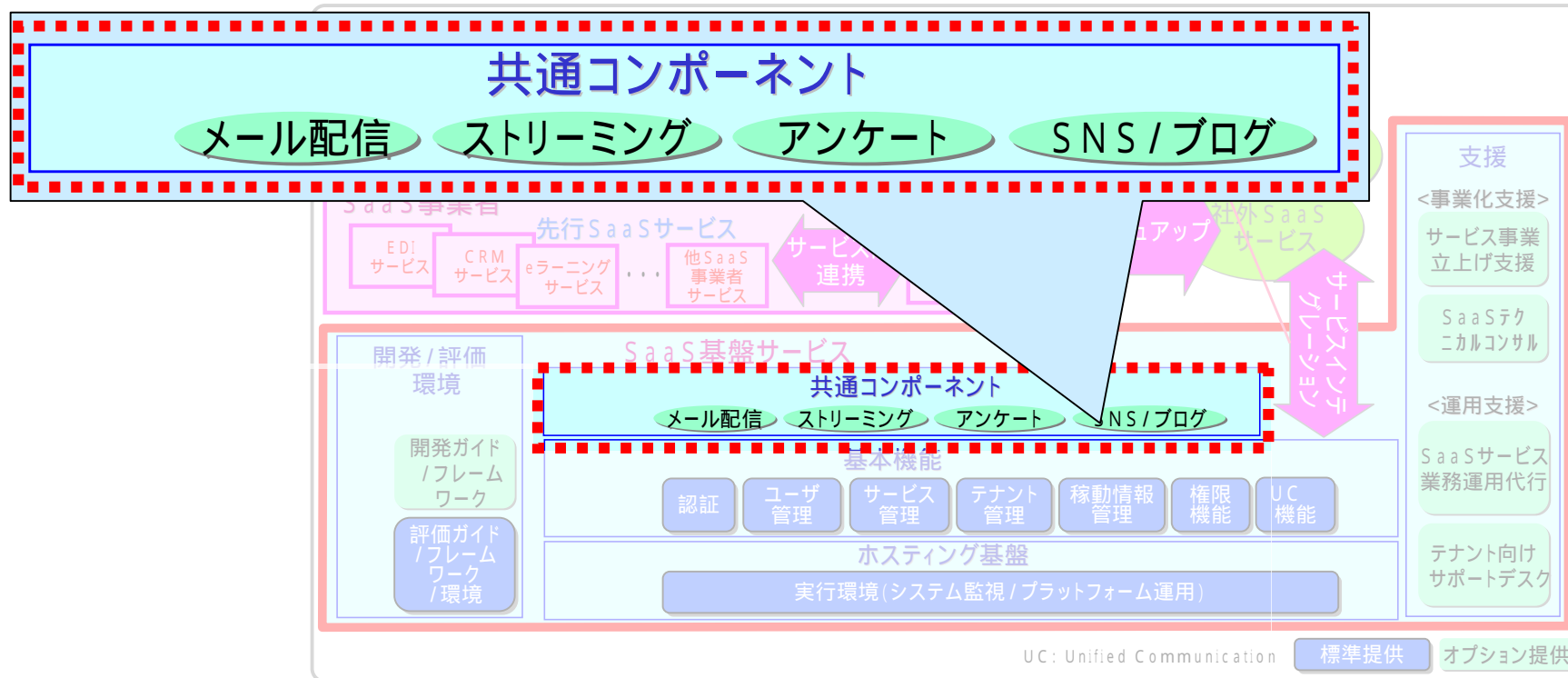


- ◆ SaaS事業者がSaaSサービスを提供する上で不可欠な各種サービス管理機能および認証機能を基盤側であらかじめ準備、SaaS事業者はアプリケーションのコアとなる部分の開発に注力できます。
- ◆ 各提供機能はサービスとしての提供ですので、SaaS事業者側で機能の保守運用は必要ありません。



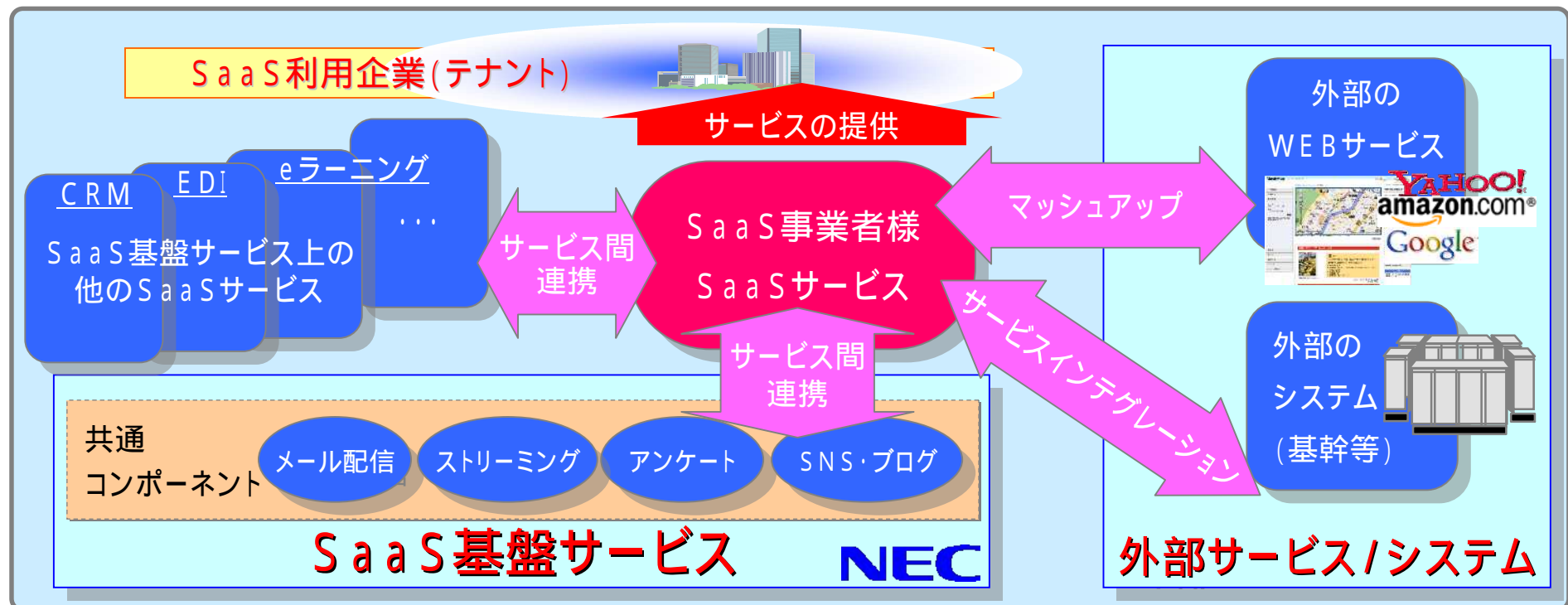
UC: Unified Communication

- ◆ SaaS事業者がサービス連携可能な共通サービス群です。
- ◆ 共通コンポーネントを利用することで、SaaS事業者は
自サービスで機能強化することなく、提供サービスの機能を拡大することができます。
 - 共通コンポーネントの情報はサービス管理機能により公開されます。
 - 共通コンポーネントは順次拡充を図ります。



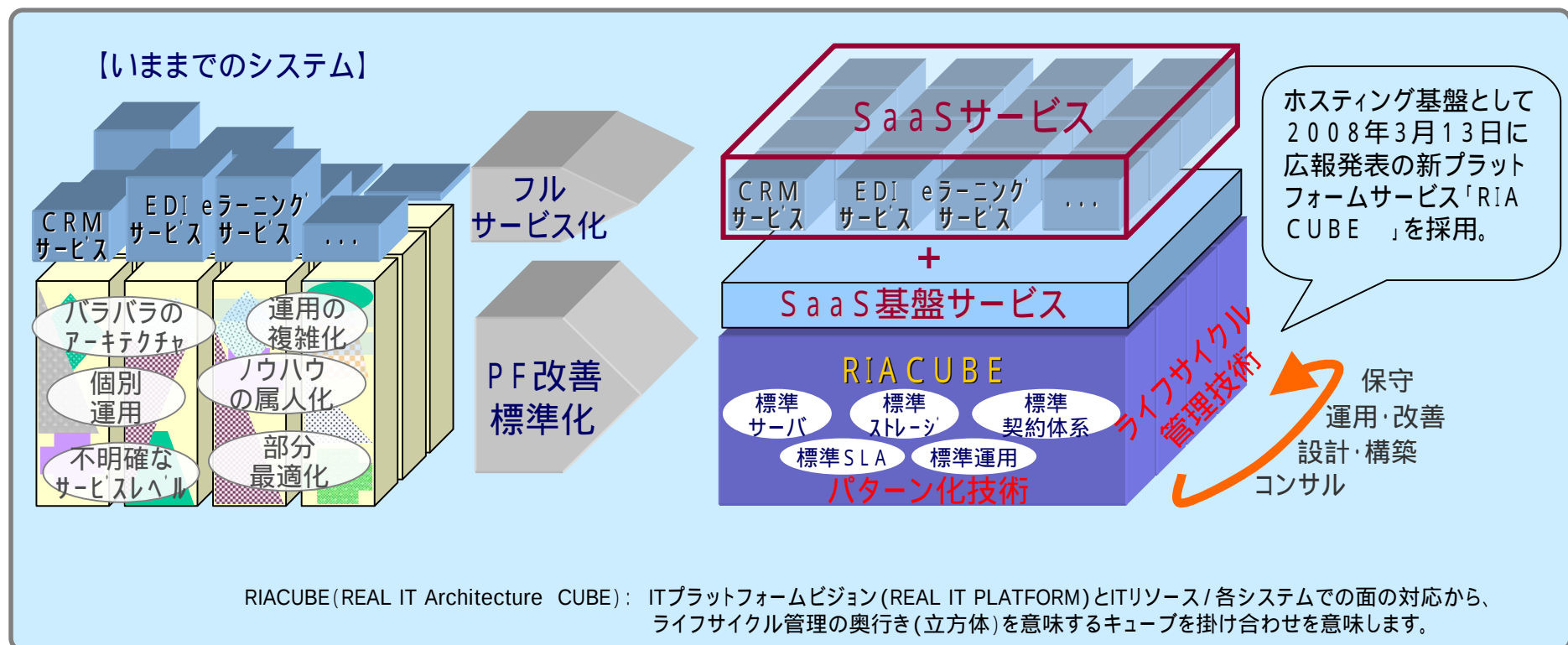
◆ SaaSサービスをより充実させるため、様々なサービス/システムとの連携を支援します

- サービス間連携:
 - SaaS基盤サービス上の他SaaSサービスとの連携
 - SaaS基盤サービスが提供する共通コンポーネントの利用
- マッシュアップ: Google等の外部サービスとの連携
- サービスインテグレーション: 既存基幹システム等の外部システムとの連携



◆ 下記の特長によりSaaS事業者様のSaaSサービスの安定提供を支援

- IT基盤におけるシステム設計・構築手法の**パターン化技術**と、様々な運用リスクへの対策を織り込んだ**ライフサイクル管理技術**とに基づいたサービスを提供することで、SaaS事業者とIT基盤のコスト目標・リスクを共有し、TCO最適化の実現に貢献。
- 様々なSaaSサービスの要求に応じて、**段階別のサービスレベル**を提供する**オンデマンド型**ホスティングサービスにより、SaaS事業者は必要なときにすみやかに最適なIT基盤リソースを入手することが可能。

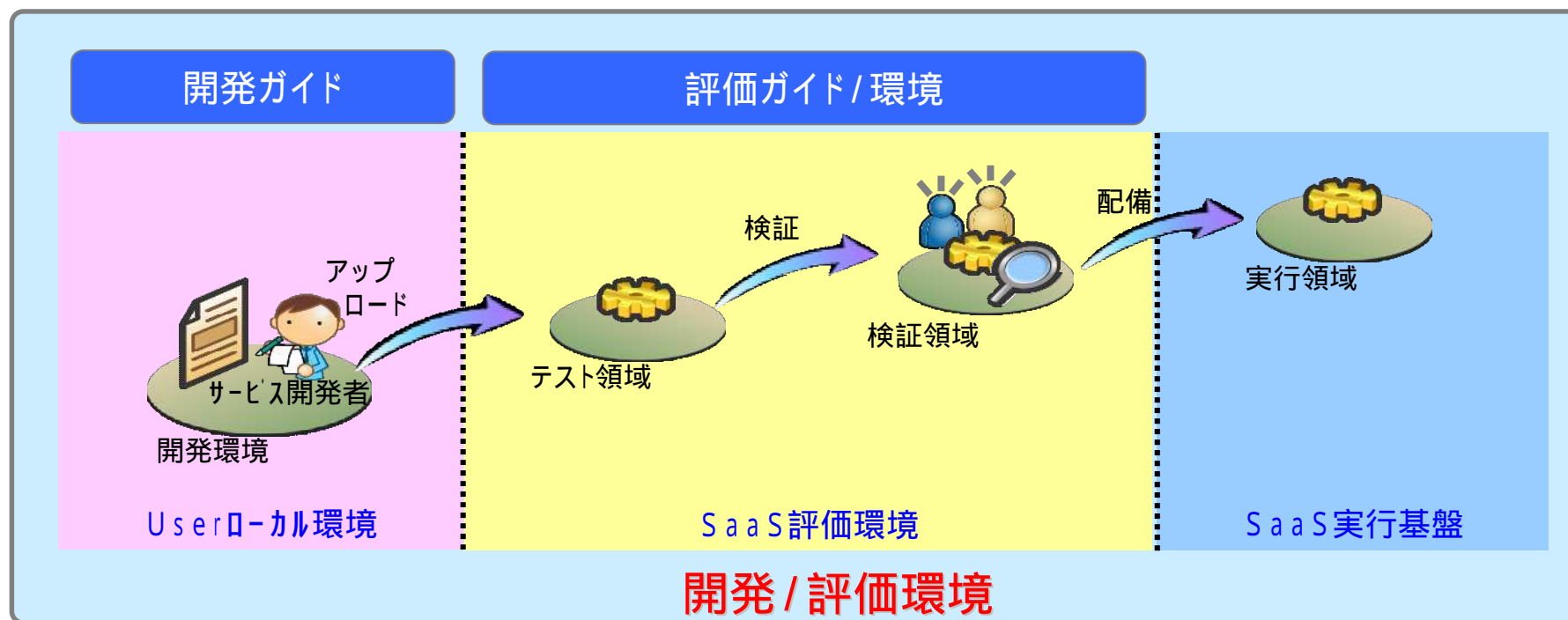


◆ 開発ガイド

- SaaS事業者がSaaSサービスを開発するための開発ガイド、フレームワーク、開発ツールを提供いたします
- SaaSサービスを開発する際にSystem Director Enterprise(以下SDE)を利用することができます。

◆ 評価ガイド / 環境

- SaaSサービスを評価するための評価ガイド/評価支援ツール/評価環境を提供いたします。
- 評価環境は当社DCに構築、インターネット経由でご利用いただけます。



◆ サービス事業立上げ支援

SaaS事業者に向けた事業立ち上げ支援

◆ SaaSテクニカルコンサル

SaaS事業者に向けたサービス構築のための技術支援

◆ サービス運用支援

SaaS事業者がサービスを提供していく上での定型運用業務の代行支援

- 1 . N E C の S a a S 戦略
- 2 . 具体的取り組み
 - 1 . アプリケーション領域での取り組み
「S a a S サービス事例紹介」
 - 2 . プラットフォーム領域での取り組み
「S a a S 基盤サービス構想のご紹介」
- 3 . パートナ支援プログラム
「SaaS Business Innovation Program」
- 4 . まとめ、お問い合わせ先

SaaS Business Innovation Programとは

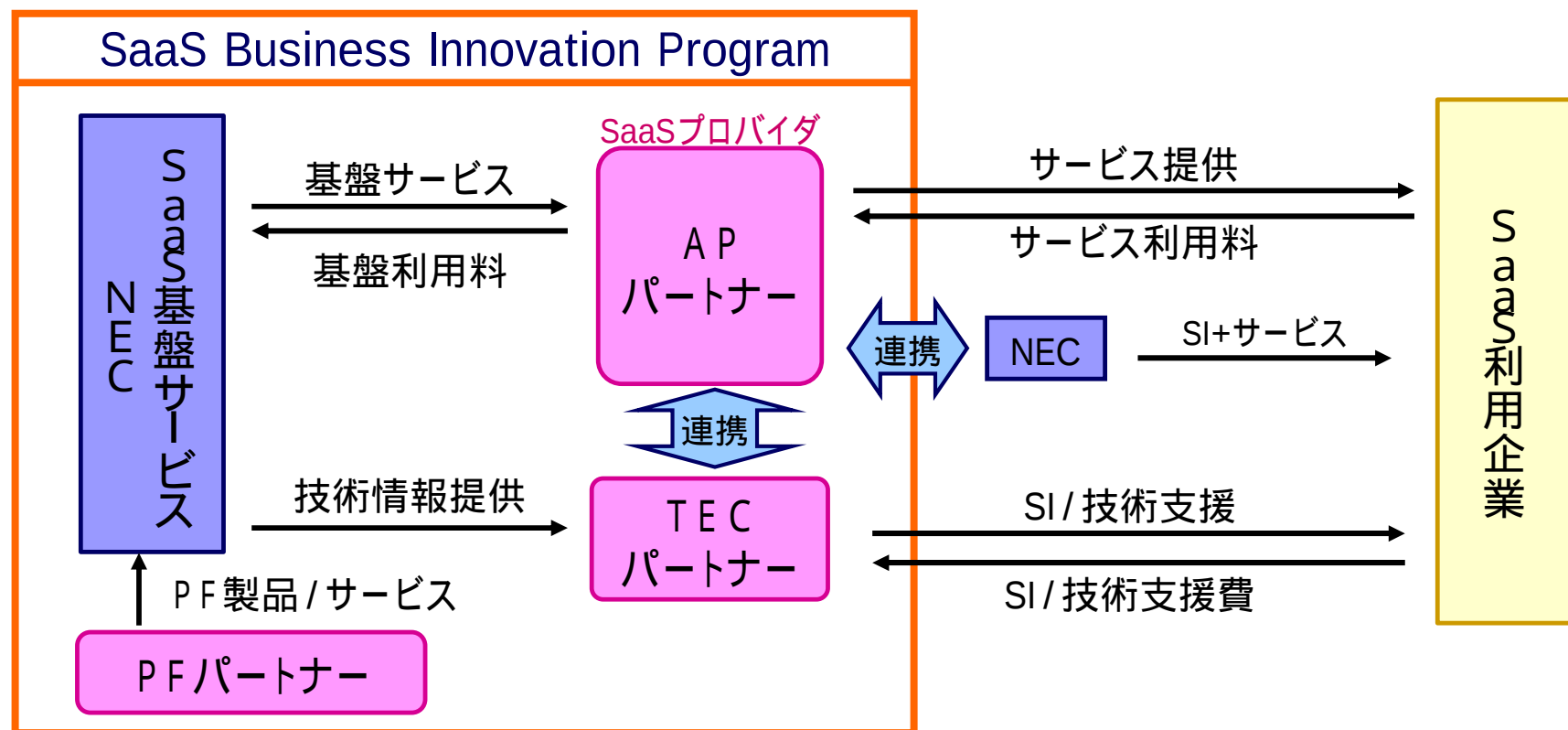
- ◆ SaaSビジネスを展開するパートナー様に対して
 - NECが提供する「SaaS基盤サービス」の利用支援 / 促進
 - パートナー様とNEC-Gが、共にビジネスを拡大していくことを目的としたメンバー制度です。

- **体系的な販促 / 技術面のサービス・サポートを提供**
パートナー様のビジネス拡大につながるような体系的な販促・技術面のサービス / サポートを提供します。
- **パートナー間でのコラボレーション促進**
SaaS基盤を提供するだけの一対一の関係にとどまらず、コミュニティやパートナー様同士間の連携も含めて、パートナー様間でのコラボレーションを促進します。
- **アプリケーション間連携サポート**
複数アプリケーション間の連携に対して技術支援サポートをします。
- **マーケティング支援・販路拡大**
マーケティング支援、NEC営業チャネル、プラットフォーム連携を通して、パートナー様の販路拡大を支援します。
- **SaaSに関する事業化支援**

プログラム内容 (3つのタイプ)

◆ SaaS基盤の提供方法に応じて、3つのタイプをご用意します。

- SaaSアプリケーションパートナー (以後、APパートナー)
SaaS基盤上でAPを実装し、サービス提供するパートナー
- SaaSテクニカルパートナー (以後、TECパートナー)
SaaSサービスに必要なコンポーネント提供、並びに、SIを支援するパートナー
- SaaSプラットフォームパートナー (以後、PFパートナー)
プラットフォーム(HW、OS、DB、サービス)を提供するパートナー

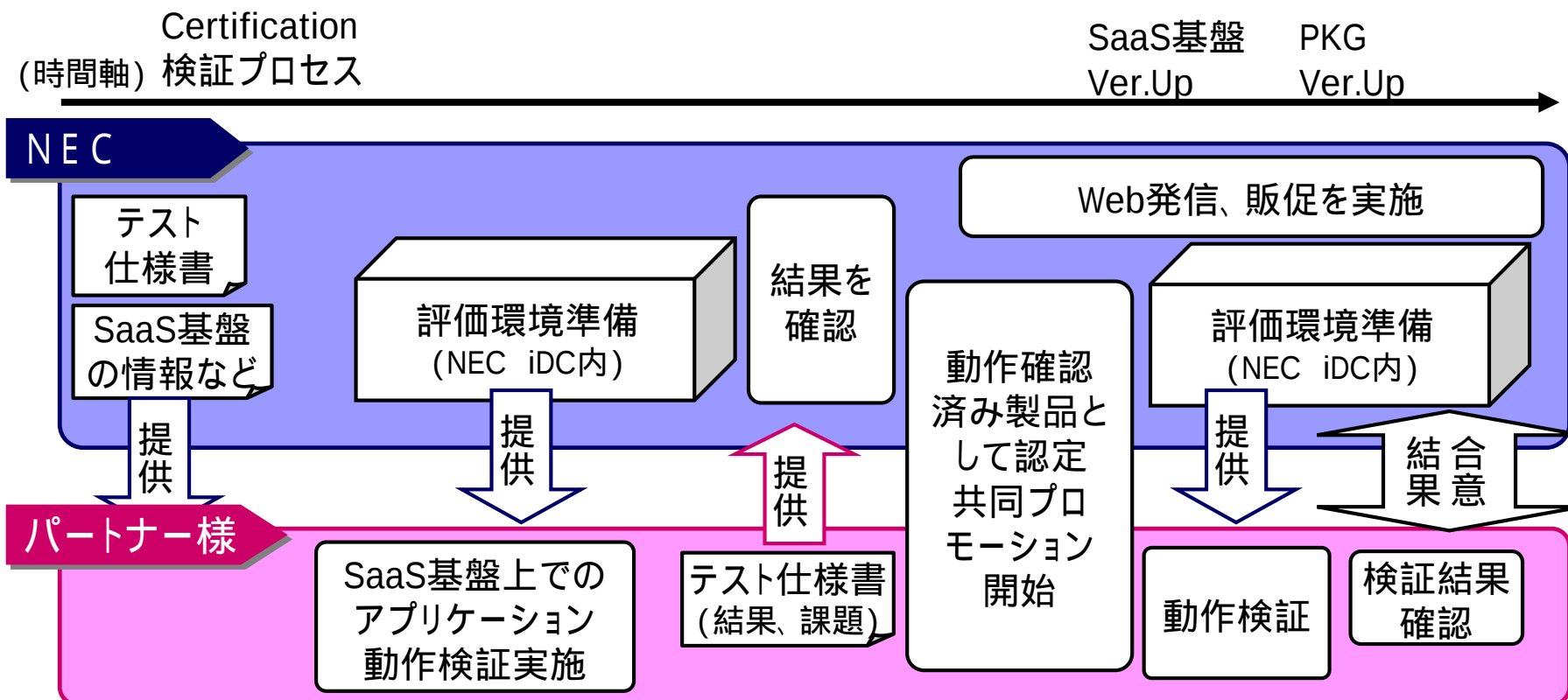


提供するサービスメニュー

サービスタイプ	主サービスメニュー	A P	T E C	P F
製品・情報サービス	•SaaS基盤技術情報の提供(ポータルサイト、メルマガ) •パートナー様の製品情報の提供(ポータルサイト、メルマガ) •パートナー様同士の情報交換の場の提供(SNS) •成功事例、ビジネスモデルの紹介	○	○	○
技術支援	•ヘルプデスク、問い合わせ対応(TEL/メール) •ソリューション共同開発 •アプリケーションのSaaS化支援(有償:会員割引あり) •アプリケーション間の連携技術支援(有償:会員割引あり) •動作検証環境の提供(有償:会員割引あり) •環境構築支援(有償:会員割引あり) •評価支援(有償:会員割引あり)	○	○	-
販売マーケティング支援	•トライアルサービス環境の提供(有償:会員割引あり) •販促支援(NECのリーフレット/ホームページなどへの掲載) •共同広報実施 •展示会/セミナー支援(NEC主催展示会の優先的参加、共同出展) •年2回会合開催	○	○	-
教育・トレーニング	•アプリケーション/コンポーネントの開発トレーニング(SaaS基盤での実装開発教育)	○	○	-

検証プロセス、Certification制度

- ◆ SaaS基盤上で開発したアプリケーションの検証環境を提供します。
- ◆ 『Certification制度』は、連携ソリューション実現のため、SaaS基盤との動作検証を実施し、動作確認ができた製品を認定する制度です。
- ◆ 認定製品はSaaS基盤との連携ソリューションとしてNECとパートナー様が共同でプロモーションします。



プログラム運営について

- ◆ パートナー様同士の情報交換および議論の場として、SNSを活用した『SaaSパートナーコミュニティ』を提供します。(その他、半期に一回会合を実施)

【SaaSパートナーコミュニティ】

- ・ 技術ノウハウ
- ・ 成功事例、ビジネスモデル紹介
- ・ セミナー/マーケティング
- ・ パートナー様情報
- ・ ディスカッション、アイデア創出
- ・ 共同開発検討 etc.



NEC-G

TEC
パートナー

AP
パートナー

PF
パートナー

- 1 . NECのSaaS戦略
- 2 . 具体的取り組み
 - 1 . アプリケーション領域での取り組み
「SaaSサービス事例紹介」
 - 2 . プラットフォーム領域での取り組み
「SaaS基盤サービス構想のご紹介」
- 3 . パートナ支援プログラム
「SaaS Business Innovation Program」
- 4 . まとめ、お問い合わせ窓口

まとめ

NECのSaaSビジネスの特長

- ◆ 長年培った業種ノウハウのサービス化
 - ホテル業、住宅業などSaaSビジネスで先行実績
- ◆ NECビッグロブの基盤を活用したコンシューマ領域へ対応
 - 公金決済サービス、第2日テレなどのコンシューマ向けサービス展開
- ◆ Unified Communicationと業務アプリケーションの連携による、新たなサービス創出
 - コミュニケーション領域におけるUNIVERGEの豊富な実績

豊富な実績
ノウハウ

- ◆ 安心して使えるSaaSの提供
 - セキュリティ、サービスレベル
 - 通常のシステム開発と変わらない開発ツール、システム連携

SIとの連携
サービス品質

- ◆ PFパートナー企業 (Salesforce.com、イントラマート等) との協業
 - ISV間で連携できる共通フレームワークの提供
 - ISV同士のコラボレーションの仕組みの提供

パートナーとの
コラボレーション

お問い合わせ窓口

NECのSaaS事業について

- NEC マーケティング本部 サービスビジネス企画グループ
〒108-8001 東京都港区芝5丁目7番1 NEC本社ビル
mail: saas@mkt.jp.nec.com

『SaaS基盤サービス』ご利用について

- NEC マネージドプラットフォームサービス事業部
「SaaS基盤サービス」お問合せ窓口
〒105-0014 東京都港区芝5丁目7番17 住友芝公園ビル
mail: saasdfs-info@ssjh.jp.nec.com

『SaaS Business Innovation Program』について

- NEC 「SaaS Business Innovation Program」事務局
〒108-8001 東京都港区芝5丁目7番1 NEC本社ビル
mail: saas-bip@ssjh.jp.nec.com

文中に表記されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Empowered by Innovation

NEC